

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4090500473		
法人名	ふく福介護 株式会社		
事業所名	グループホーム ふく福 吉兵衛どんの里 (わかたけの詩)		
所在地	〒803-0279 福岡県北九州市小倉南区徳吉南三丁目16-17 Tel 093-453-3515		
自己評価作成日	令和04年12月05日	評価結果確定日	令和05年03月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号	Tel 093-582-0294	
訪問調査日	令和05年01月26日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

全職員で作った理念(安心と安全・季節感の訴求・地域密着)をベースに日々のケアに取り組んでいる。食事に関しても、ご入居者様より「美味しいね」と温かく優しいお言葉を頂いており、職員の励みとなっている。また、コロナ禍で出来る限りのイベントを行い、誕生日、プラレールを使った回転ずし、クリスマス等バラエティに富んだイベントを継続してご入居者様からあふれ出る笑顔もまた励みとなっている。全員参加の地域交流は、自粛し出来ていないが、今年は移動販売のパン屋さんに来ていただき、各々、パンを選ぶ楽しみ、パンを買う喜びを感じて頂いた。もちろんパン屋さんとの顔合わせも出来挨拶などで交流を深める事が出来た。医療に関しては、連携医による毎週の往診、皮膚科医師による月1回の往診、訪問歯科等安心できる医療体制が構築されている。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25.26.27)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20.40)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38.39)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、日常的に戸外へ出かけている (参考項目:51)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32.33)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員一人ひとりが理念を共有し常に実践を心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの為様々な地域の行事が中止になり交流が減少されているも、毎月町内の方からお米を購入させていただき三月の町内会議にはホーム長が出席する。敬老の日には町内会より饅頭を頂くなど交流をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の一室を地域交流スペースとして開放し地域の人々に向けて活かしている玄関に(地域交流スペース)張り出している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はコロナの為書面での報告を考えている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃より密には連絡は取れていないが、必要な場面では、報告、相談を行い、協力関係を築ける様に活動している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「禁止の対象となる行為」の理解を促し身体拘束・言葉による拘束が発生なきようリーダー、管理者が注意を払うよう取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止を徹底しそのような行為を見たり気づいた時には、リーダー・管理者に報告し注意をすることで職員間で防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在活用しているご入居者様はおられないが必要なパンフレット類を取り揃えていつでも申請できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間をとり、ご家族様、ご入居者様に説明。ご納得いただいている。またホームの特徴をコンパクトにまとめたオリジナルの書類を作成し、さらなる理解納得を深めていただいている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナの為家族会が行われていないが玄関にご意見賜り箱を設置し意見要望等が表せるようにしている。家族の方が来られた時には職員が直接意見を伺い話し合いをしている。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナの為書面での会議が多いが職員個人個人が気づいた点・意見や提案は管理者に直接話をし提案している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員不足ではあるが、毎年の上昇給や有給休暇の取得など環境と条件の向上に努めている。		
13	9	○人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に関しては、年齢・性別による対象除外は一切行っていない。幅広い年齢層の職員が在籍しており勤務時間・勤務日数も相談に応じ勤務している。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	定期的に北九州市社会福祉協議会の人権教育の研修会に受講していたが、昨年、今年と参加できていないので受講するよう取り組んでいきたいと思う。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月会社負担にて業務に必要な知識やスキルを取得するための研修を受けている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協議会には加盟しているが今年には参加できていない。ホーム長とケアマネの人脈で同業者との交流の取り組みをしている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安をぬぐい安心して頂けるよう職員一人ひとりが声がけして傾聴し信頼関係が築けるように努めている。困っている事、不安があれば、職員で話し合い不安を取り除くように努めている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にはホーム長とケアマネージャーが家族との面談を行い、不安・要望などを汲み取りケアプランへ反映させている。入居後一週間はご家族様へ生活ぶりを報告させていただいている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様、主治医、看護師、ケアマネージャー、介護士を含め話し合い、もっとも必要な支援、他のサービス利用も対応できるように取り組んでいる。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様と職員は一緒に生活をするという事を頭に置きご本人の出来ることを職員と一緒にしておこなう。洗濯物を干したり畳んだりする時に会話し関係を築いている。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様からの相談・要望などがあれば話を聞き解決していく。また、職員よりご家族様に相談することもあり共に支えあう関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為、馴染みの方は今は来る事が出来ないが、ご本人様が希望すればいつでも手紙や電話を掛けれるように案内を掲示し支援をしている。お孫さんとの手紙のやり取りをされている方もいらっしゃいます。		
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご自宅が同じ地域の方の席を近くに話話が広がるように支援している。ご入居者様同士が声掛けをして食器の片付けなどをされ、関わり合いを持たれている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後もご家族様と季節のあいさつなどでやり取りを継続している。地域で会った時なども声をかけ近況報告などを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご入居者様とのコミュニケーションを取り、ご家族様のご協力を得ながらセンター方式を用いて把握に努め一人ひとりの暮らし方に寄り添うよう努めている。意思表示が困難な場合には生活の中での表情より何を求めているかを考えご入居者様の希望に近づけるように心掛けている。		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様はもとより担当のケアマネージャーや、利用されていた施設の職員などから、直接話を聞き、把握に努めている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式のアセスを用いて職員同士で情報共有をする。朝・夕の申し送りにて一日の過ごし方心身状態を職員同士で共有し把握に努めている。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご入居者様の意向を聞き取りカンファレンスを開催し介護計画に反映している。また、主治医、歯科医、薬剤師、職員からの意見を介護計画に反映させている。ご家族様にも近況報告し意見・指示等を仰いでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録に日常生活をこまめに記入しご入居者様を観察し体調の変化などを記入する。ケアプランに沿った介護を行った場合記録に青いアンダーラインを引き、ケアプランを常に意識している。実践に活かしている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族と連絡を取りその時々で病院、買い物、銀行などの支援を随時おこなっている。今は、コロナの為ご入居者様と買い物に行けていないが、ご本人様に伺い、必要な物を職員が買い物に行っている。ご入居者様に何か食べたいものはないかご本人様のお誕生日に食べたいメニューというご希望にも叶うよう最善をつくしている。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隔月開催の公民館清掃も今年はコロナの為参加できていない。施設の前が竹林の為、収穫の時期は町内の方より苜を頂きたけのごご飯などで美味しく頂いた。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご入居者様とご家族様の希望する主治医の毎週の往診はもとより、特変時には随時往診また24時間オンコール対応で安心できる医療体制が構築できている。		
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日常の中で気づき体調の変化などがあれば看護師へ報告連絡相談を行っている。必要があれば、オフの時や深夜にまで連絡している。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コロナの為病院へのお見舞いは行けないが病院関係者と連絡をとり情報交換している。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	全てのご入居者様とご家族様へは、ご入居時に看取り介護の方針を説明し了解して頂いている。重度化とそのような場合には主治医指導の下、ご家族様、職員三者一体となり話し合いを行い方針を決め共有している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナの事もあり、応急手当や初期対応の訓練は定期的に行っていないが、急変時などは、看護師や主治医への連絡を徹底しその指示のもと対応を行っている。		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、夜勤者の避難訓練も行っている。災害時の避難場所を確認する。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご入居者様一人ひとりその方に合わせた声掛け同じ目線での対応を心掛けている。羞恥心への配慮も行い、その方らしい生活ができるよう対応している。		
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が一人ひとりに声掛けをしお話しするようにしている。ご本人様の思いや希望を聞き取りどのようにしたいのか働きかけ、ご本人様の希望が出来る限り叶う様に努めている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様の体調・気分を考慮し、居室にてゆっくりすごされ本を読まれたり、テレビを観られたりと一人ひとりの時間を大切に出来る様努めている。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一回の散髪を楽しみにされている。入浴時にはご自身で洋服を選んで頂き、女性の方は入浴後化粧水をつけて頂き男性は髭を剃って頂くよう声掛けし身だしなみに気を使っている。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになる様にパンバイキングや冬にはおでんなど職員と一緒に玉子の皮むきをして準備をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食の量は一人ひとりの状態に合わせてバランスよくおかずも召し上がって頂く様に努めている。水分も一日に数回に分けこまめに摂取する様に気を付けている。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアをご自身で磨ける方は声掛けにて実施して頂き、義歯の方は職員が横につき声掛けし磨いて頂き、磨き残しのある方については、職員が介助にて対応を行っている。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	2時間間隔でのトイレの声掛けを行い、トイレでの排泄を習慣にし自立に向けた支援を行っている。		
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	歩行運動や体操を毎日行い、食べ物ではヨーグルトや牛乳を飲まれたり、水分補給をこまめに摂取して頂いている。今後、体操に便秘体操を取り入れて便の出やすい環境を整えていきたいと考えている。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の時間・曜日は決めているが、ご入居者様のその日の体調・気分などを配慮し、ご本人と話し入浴の変更をしている。		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後は口腔ケアをされ、パジャマに着替えて頂き居室にてテレビを観たり本を読まれたりとゆっくりと過ごされる方や、リビングにてテレビを視聴し他のご入居者様、職員との雑談をたのしまれている。一人ひとりのリズムに合わせた睡眠をとっている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書はファイルに閉じ職員が確認できるようにしている。薬の変更は看護師にて申し送りノートに記入し職員が把握できるようにしている。薬の変更時は体調の変化がないか気を付けている。服薬時には職員二名にて名前、日付、時間の確認。ご本人様にも確認して頂き服薬する様にしている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る事を活かし洗濯物を干したり、テーブルを拭いて頂くなどのお手伝いをされている。音楽療法では、季節ごとの歌を歌ったり、歌を歌い身体を動かしています。紙芝居の時は、昔を懐かしむ方も多く、子供の頃のお話をされる方もおられる。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの為、ご家族様と戸外に出かける事が出来ませんでした。ですが、天気の良い日、風の強くない日は、施設のベンチに座り日光浴して頂いている。その際、ご入居者様同士でお喋りされ楽しい時間を過ごされている。桜の時期は車でドライブに行き、桜を楽しんで頂き、施設内の庭にてお花見も開催しました。		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご入居者様の中には、ご自身で金銭管理をされている方もおられる。先月も、パンの訪問販売に参加されご自身でパンを選んで頂き、ご自身で支払いをされる喜びを感じて頂いている。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話を掛けれるようにと案内を掲示し支援を行っている。はがきを用意しお渡ししている。携帯電話を持たれている方もおられ、ご家族様と連絡を取られている。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはご入居者様が作られた作品を掲示しその作品も季節の作品を作っている。テーブルには季節の花を飾るようにし、五感を通じて季節感を感じて頂いている。ご入居者様同士の会話に繋がるフアクターになっている。イベントごとに飾り付けするなど工夫を行なっている。		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コミュニケーションが難しい方の隣に職員が座り、独りにならない様に支援している。ご自宅が同じ地域の方の席を近くにして懐かしい思い出話やお子様のお話をされている。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	好きなアイドルや、ご家族様の写真などを飾り、ご本人様の居心地の良い工夫を行なっている。ご主人様のお仏壇を居室に置き毎日お茶を供えられている。		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室に手書きで書いた表札を掛け部屋が分かるようにしたり、トイレの場所が分かる様に廊下に矢印を貼っている。廊下にはソファを置き座り休めるようにしています。夜間帯、トイレの回数が多い方や歩行の悪い方には居室センサーやポータブルトイレを置き、安全に排泄が出来るように努めている。		